

地域活動充実支援事業

(手柄地区)

No. 20 2022.01

手柄地区において、行政と地域がともに考え行動していく地域活動充実支援事業についてお知らせします。

第 21 回「もっとよく知ろう手柄」ミーティング

会議概要

日時	場所
令和4年1月30日(日) 13:30~14:12	姫路市総合福祉会館 第2会議室

出席者(順不同)	自治会長や地域活動団体関係者等約 50 名、姫路市 3 名
----------	-------------------------------

議題
<ul style="list-style-type: none"> 「手柄山に新しいスポーツ施設が誕生します」 講師：姫路市手柄山中央公園整備室 企画：手柄地区を楽しむグループ

議事内容／結果

1 開会

高澤手柄地区連合自治会長 挨拶

- ・集まりにくいこの時期に、予想以上の方々にお越しいただき、ありがたい気持ちと申し訳ない気持ちです。本日は、窓やドアを開け空気が流れている状態にし、時間短縮で進行していく。
- ・5月開催の「全国花のまちづくり姫路大会」のチラシを配付しているが、式典での事例発表の1つで、昨年、手柄ザクラの勉強会をしていただいた県立大学の熊谷名誉教授が、手柄ザクラと地域の取組を紹介されると聞いている。山陽中学校吹奏楽部によるオープニング演奏や、元手柄小学校長(上田氏)による事例発表もある。式典への参加は無料で、記念品ももらえるようだ。参加申込は先着順なので、都合がつかなら検討されてはと思う。また、2月末には小学校と幼稚園の門のところに、手柄地区のマップや手柄ザクラの説明を載せた看板を立てる予定にしている。
- ・今日は、事業の詳細はこれから詰まっていくという段階だが、無理を言って手柄山中央公園整備室の方に来てもらった。まん延防止等重点措置の実施期間中のため、質疑は無しで進めたい。

2 講話「手柄山に新しいスポーツ施設が誕生します」

手柄山中央公園整備室が現在進めている事業については、昨年度の11月に一度お話しさせていただいており、今日はそのおさらいと新しいスポーツ施設の整備に関して説明したい。

手柄山のかつての賑わいを取り戻すため、人の賑わう公園を目標に再整備を進めている。平成29年1月に再整備の基本計画を策定したが、第1期として令和7年度を目標に公園の北西エリアの主にスポーツ施設を、令和8年度以降に第2期として公園の東部エリア(主に文化センター跡地)を整備していく。現在は野球場、中央体育館、陸上競技場、サブグラウンドを往来する歩道橋の工事が進んでおり、将来はJR新駅から野球場までを2階レベルのデッキで結ぶ計画である。

第1期で整備する新体育館（5,000席規模）、屋内競技用プール（50mと25m）、屋外レジャープールについては、設計・建設・運営・維持管理まで一括で担うPFI事業で実施する。PFIとは、民間の資金、経営能力、技術力を活用し、公共施設等の設計・建設・運営・維持管理までを一括で行う公共事業の実施手法のことで、設計に運営の意見を反映しやすくなり、特にスポーツ施設の整備では有効な手法と言われている。契約期間は令和23年3月末までの約20年。令和3～4年度が設計、5年度から造成工事、6年度から建築工事、8年10月に供用開始の予定。

提案において、屋内プールと新体育館の一体的な整備、山と調和する水平ライン、JR新駅から野球場までの南北軸を意識した連絡通路、山の高低差を利用した多目的広場などは民間のノウハウが活かされている。新体育館のメインアリーナはバレーボールコートが3面、シッティングバレーなどにも対応し、観客席の周囲には1周270mのランニングコースが確保できる。またバレーボールコートが1面のサブアリーナを有し、大会やウォームアップエリア等での活用が見込まれる。2階中央には総合受付があり、新駅からバリアフリーでアプローチできる。屋内競技用プールは日本水泳連盟公認の50mプールと25mプールを隣接して配置する。可動床により一般の方も使いやすい水深に調整することができるほか、水泳選手が1年中練習できるように、冬季のアイスリンク化はしない。新体育館と屋内競技用プールには、感覚過敏の方でも安心して観戦できるセンサリールームを設ける。3階には柔道場と剣道場があり、可動壁の移動による一体利用も可能。4階には弓道場があり、可動式的により、近的・遠的のどちらの競技にも対応できる。屋根には太陽光パネルを設置する。屋外には流れるプール、だんだん深くなるプール、森のスライダーなどファミリーで楽しめるレジャープールを、一段高い場所にはバーベキューなども可能な多目的広場を設ける。他にはトレーニングルーム、キッズルーム、多目的スタジオ、レストランやコンビニのスペースがある。新駅ロータリー横のみんなの広場では、イベントやブースによる賑わいづくりもできれば。

手柄山中央公園を起点に姫路市全体が盛り上がっていくような施設になればと思っている。

3 まとめ（姫路市市民活動推進課）

手柄の皆さんにとって大変興味のあるテーマだったと思う。皆さんが共通の認識をもって地域活動に活かしていくことは大切である。コロナ禍で制約はあるが、可能な範囲で活動を続けてほしい。

次回 令和4年2月27日（日） 13時30分から 姫路市総合福祉会館

内容：「手柄ザクラと地域活性化」

座長：兵庫県立大学 熊谷 哲 名誉教授 企画：手柄地域交流グループ

外観鳥観図（イメージ図） ※提案資料として提出された図であり、今後の協議により実際のものとは異なる場合がある。

